2026年10月26日

業務名称：関西SDGsプラットフォームのウェブサイト構築・運用保守管理業務（2026-2030年度）

（公示日：2026年9月25日　調達管理番号：26c00341000000）について、意見招請実施要領に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
関西センター　所長

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P.1	1.業務の背景	現行ウェブサイトを「簡易版ウェブサイト」と記載するとのことですが、URLも合わせて記載したほうがわかりやすいと思います。念のため、URLはこちらでしょうか：https://kansai-sdgs-platform.jp/	簡易版ウェブサイトのリンク先は「https://kansai-sdgs-platform.jp/」に相違ありません。 入札公告時には、業務仕様書にURLを記載します。
2	P.1	1.業務の背景	今回の移行対象である「旧ウェブサイト」を事前に閲覧することは可能でしょうか？	入札公告後に業務内容説明会を実施します。同説明会にて実際の画面を投影しながら説明いたします。
3	P.1	1.業務の背景	「関西SDGsプラットフォーム」サイト用のサブドメインは、JICA様にて取得・管理いただく認識でお間違いないでしょうか。	JICAにて取得・管理します。
4	P.1	（２）関西SDGsプラットフォームウェブサイトの構築	①構築開始時に、旧ウェブサイトのコンテンツ（画像、文章等）等を含むデーター式（ホームページを構成するうえで必要なhtml以下一式）をご提供いただくことは可能でしょうか。 ②構築開始時に、旧ウェブサイトのデザインデーター式をご提供いただくことは可能でしょうか。またご提供いただける場合、データ形式をご教示ください。例:html,Figma,編集可能データか等	旧ウェブサイトのコンテンツ（画像・文章等）及びデザインについて、参考として元データー式を提供することは可能です（ソースコードー式は含みません）。 提供した元データの活用も可能ですが、必ずしも、旧ウェブサイトのコンテンツ・デザインを踏襲する必要はありません。
5	P.1	1.業務の背景	別添2に掲載されていないページの構成・表示仕様、およびスマートフォン表示を確認するため、旧サイトの閲覧環境や保存データ、または追加の画面資料をご提供いただけますか。	NO.2回答のとおりです。
6	P.2	3.業務実施予定期間	業務実施予定期間 2027 年1月～2031年3月 サイト構築期間は2027年1月から3月20日までででしょうか？ NO.10（JICAにて今回の質問回答の番号に修正）の回答にもよりますが、現時点でサイト全体のボリュームは、新規コンテンツ・移行コンテンツを合わせてトータル何ページを想定していますか？ その回答がないとスケジュールの妥当性判断ができません。	ご助言、ありがとうございます。 NO.6から14については、構築期間並びにその妥当性判断に必要な「ページのボリューム」「アクセス数」「ウェブサイト階層」に係るご質問となりますので、これらをまとめて以下のとおり回答いたします。 ●構築期間について 「簡易版ウェブサイト」の運用保守との関係から、年度内公開の必要があるため、構築期間は2027年1月18日～2027年3月20日（2か月程度）を想定しています。 ●ページのボリューム及びアクセス数 <簡易版ウェブサイト：2026/10/19～10/25> ・総ページ数：1ページ（トップページのみ） ・週間アクセス数：約27,800件（監視ツールを除き、ボットは含む） ・週間PV/UU数：1,645 PV / 741 UU ・通常（1日平均）：約235 PV / 約115 UU ・ピーク時：581 PV / 110 UU <旧ウェブサイト：2025/6/23～7/20> ・総ページ数：約2,800ページ（期間中に正常表示された記事・カテゴリなどのHTMLページ数） ・月間アクセス数：約358,000件（画像・CSSやボットを含む） ・年間アクセス数：約460万件（推計） ・月間PV/UU数：4,729 PV / 1,606 UU（4週間合計） ・通常（週平均）：約1,180 PV / 約470 UU ・ピーク時（週）：1,251 PV / 455 UU ・ピーク時（日）：405 PV / 151 UU なお、今般の構築対象となるページには、業務仕様書「別添3：関西SDGsプラットフォーム（KSP）ウェブサイト階層図案」の「KSPホームページ全体（日本語）」に記載している階層のうち、イベント及びニュースの過去情報は含みません。 上述で提示したページのボリューム（ページ数）は、イベント及びニュースの過去情報も含めたページ数です。 実際に構築対象とする静的ページは50ページ程度を想定しています。 また、NO.4回答とも関係しますが、旧ウェブサイトのコンテンツ・デザインの元データー式（ソースコードー式は含みません）を参考としてJICAから提供、同元データも活用して新規コンテンツを作成することを想定しています（旧ウェブサイト・簡易版ウェブサイトからのページ移行は想定していません）。 ●ウェブサイト階層（サイトの情報構成） 構築開始時に、業務仕様書「別添3：関西SDGsプラットフォーム（KSP）ウェブサイト階層図案」より詳細な、1つ1つのコンテンツの階層が分かる一覧を提供することは可能です。 以上を踏まえ、構築期間は2か月程度で可能と想定しています。現時点では、段階的な公開は想定していません。 ページのボリューム、アクセス数については、入札公告時の業務仕様書に追記します。
7	P.2	3.業務実施予定期間 別紙2 全体スケジュール	サイト階層図に示された構築範囲、およびCMS構築・既存コンテンツ移行・各種検証・発注者確認と修正に必要な工程を踏まえると、ウェブサイト構築計画書の合意後、構築完了までに3～4か月程度を要すると想定しています。 現行スケジュールでは、計画書提出期限の2027年2月15日から、3月中の構築完了まで約1か月しかなく、十分な制作・検証期間の確保が難しいと考えます。 計画書合意後に3～4か月程度の構築期間を確保できるよう、公開時期を見直すことは可能でしょうか。 3月中の公開が必須の場合は、その期限を前提とする理由、および初期公開範囲を限定した段階的な公開の可否をご教示ください。	NO.6と同回答です。
8	P.9	7.業務内容 （２）システムの切り替え 3）システム切替の実施	構築期間が2027年1月18日～2027年3月20日の約2か月を想定されていますが、この期間は変更可能でしょうか。サーバ構築・移行を伴う場合、最低でも4か月は必要となります。	NO.6と同回答です。
9	P.2	3.業務実施予定期間	現行のスケジュールでは、設計・開発・テストに必要な期間を十分に確保することが難しいと考えております。 そのため、品質確保の観点から、開発期間の見直しをご検討いただくことは可能でしょうか。	NO.6と同回答です。
10	P.3		「旧ウェブサイトから新サイトへの移行について、移行対象となる静的ページ数、および過去の『ニュース』『イベント』等の動的記事の総件数をご教示頂いたほうが良いかと思います。	NO.6と同回答です。
11	P.3		サーバー設計にあたり、旧ウェブサイトの月間、年間アクセス数を参考として提示したほうが良いかと思います。 『アクセス量、コンテンツ量等を踏まえ、必要十分な構成を提案』とありますが、過剰なリソース見積もりを防ぎ最適なインフラを設計するため、旧ウェブサイトの月間PV/UU数（通常時およびピーク時）と、現在の総データ容量（GB）をご提示頂いたほうが良いかと思います。	NO.6と同回答です。
12	別紙3_添付3_ウェブサイト階層図案.pdf	全体	①旧ウェブサイトの総ページ数、アクセス数をご教示ください。 ②階層（サイトの情報構成）について、構築開始時に「階層案.pdf」よりさらに詳細の、1つ1つのコンテンツの階層が分かる一覧をexcel等でご提供いただくことは可能でしょうか。	NO.6と同回答です。
13	P.2	２．業務概要 （4）ウェブサイトのページ・システム作成及び更新作業	作成対象となるページ数が明記されていないため、想定されるページ数をご提示いただけますでしょうか。ページ作成・更新に係る作業工数および見積条件を明確にするため、資料への明記をお願いいたします。	NO.6と同回答です。
14	P.1	２．業務概要 （２）関西SDGsプラットフォームウェブサイトの構築	旧サイトおよび簡易版サイトから移行する固定ページ、イベント、ニュース、共創スペース、会員情報、画像・添付ファイルについて、対象範囲と件数・容量をご提示ください。また、過去記事は全件移行する想定でしょうか。	NO.6と同回答です。
15	P.3	４．ウェブサイト構築の基本方針 （4）旧ウェブサイトからの変更点について	各種お申込み等で利用するMicrosoft Formsについて、ウェブサイト側での実装は『外部タブでのリンク遷移のみ』という認識で相違ないでしょうか。サイト内への埋め込み（iframe等）やデザインカスタマイズはスコープ外という理解でよいか確認させてください。	ご認識の通り、『外部タブでのリンク遷移のみ』です。 サイト内への埋め込みやデザインカスタマイズはスコープ外です。
16	P.6	５.ウェブサイトシステム環境の構築および運用・保守の基本方針 （２）ウェブサイトシステムの運用・保守 ７）オペレーション	クラウドサービス利用料（IaaS/SaaS等）を受注者が負担する場合、5年間（2026-2030年度）の運用期間中における大幅な為替変動やベンダー側の価格改定があった際、利用料の見直し（契約変更）を協議することは可能でしょうか。	大幅な価格改定等によりやむを得ない場合は、利用料の見直し（契約変更）について協議可能です。
17	P.6	５.ウェブサイトシステム環境の構築および運用・保守の基本方針 （２）ウェブサイトシステムの運用・保守 ７）オペレーション	発注者からの依頼により、リソースの増減、設定変更等のオペレーションを行った場合、クラウド利用料が変動する可能性がございます。利用料の大幅な変動があった場合には、契約金額についても見直しが行われますでしょうか。	NO.16と同回答です。

18	P.3	4．ウェブサイト構築の基本方針 （4）旧ウェブサイトからの変更点について	『旧ウェブサイトからの変更点として情報セキュリティの強化』とありますが、旧ウェブサイトで利用されていたと推察しますWordPress等のような旧来のCMSでは脆弱性リスクが伴います。 より高度なセキュリティ（改ざん防止等）を実現するため、『フロントエンドにデータベースを持たないHeadless CMS＋静的サイト生成（SSG）などのモダンアーキテクチャを採用すること』を推奨、または評価の要件に加えてはいかがでしょうか。	ご助言ありがとうございます。 モダンアーキテクチャを推奨・要件とすることも一案ではありますが、他の構成でも同等のセキュリティ水準を確保することは可能であるとの認識です。 これを踏まえ、業務仕様書P3「（3）CMS設計方針」に記載の「十分なセキュリティ対策を講じること」の記載について、明確化することを検討します。
19	P.3	4．ウェブサイト構築の基本方針 （4）旧ウェブサイトからの変更点について	「会員連携検索システム」を廃止と有りますが、ホームページ上で会員限定のログインID/パスワードでログインを必要とするページはない想定でお間違いないでしょうか。	ご理解の通り、会員限定のログインID/パスワードでログインを必要とするページは設定しない想定です。
20	P.3	4．ウェブサイト構築の基本方針 （5）旧ウェブサイトからの変更点について	イベント・ニュースの検索条件、検索対象、過去掲載情報の表示方法をご教示ください。また、会員団体の取組紹介は外部サイトへのリンク掲載を基本とするのか、サイト内に紹介ページを作成する場合もあるのかをご教示ください。非掲載会員を含む会員数の管理・更新方法もご提示ください。	イベント・ニュースに関しては、当該表示エリアからそれぞれの「検索ページ」に遷移するようにし、アーカイブを検索できるようにします。 会員団体の取組紹介は、外部サイトへのリンク掲載とし、サイト内に設置しません。 非掲載会員を含む会員数の管理は、JICAが行います（ウェブサイトでの会員数の更新はJICAの依頼に基づき行う）。
21	P.2	4．ウェブサイト構築の基本方針 （1）デザイン方針	公開前および運用期間中に、第三者による脆弱性診断やアクセシビリティ試験は必要でしょうか。必要な場合、対象範囲・実施頻度・実施主体・費用負担をご教示ください。 また、アクセシビリティの「レベルAAへの準拠を目標」について、検収時に求められる試験・報告・結果公開の範囲をご教示ください。	脆弱性診断については、業務仕様書に記載のとおり、サーバ環境を対象として、構築時及び運用期間中は半期に1回実施し、その結果を発注者へ報告することを想定しています。 一方、Webサイト（Webアプリケーション）に対する脆弱性診断やアクセシビリティ試験については、現時点では実施を必須要件としていません。
22	P.5	5．ウェブサイトシステム環境の構築および運用・保守の基本方針 （2）ウェブサイトシステムの運用・保守 1）システム運用・保守の体制について 5）障害対応 6）電話・メール対応	夜間・休日は自動監視・自動制御を基本とし、詳細調査・復旧は翌営業日対応とすることが認められていますが、有人の電話・メール連絡や重大事象時の公開停止は、夜間・休日も必要でしょうか。必要な初動時間と連絡体制をご教示ください。	夜間・休日対応は不要です。翌営業日のJICA担当者への報告・対応で問題ありません。
23	P.7	6．　システム設計に係る基本方針 1）利用するクラウドサービスの要件	別添4第1項と第2項の関係について、ISMAP未登録かつ登録未申請のサービスでも、ISMS認証とISMAP管理策相当の対策資料を提出し、機構の承認を得れば採用可能でしょうか。可能な場合、審査資料・手順・所要期間をご教示ください。登録申請済みのサービスについては、登録完了期限の指定があるかもご教示ください。	ISMAP等クラウドサービスリストに未登録かつ登録未申請のクラウドサービスであっても、ISMS（JIS Q 27001）認証を取得していることを前提として、ISMAP管理基準の管理策基準が求める対策と同等以上の水準にあることを示す資料（JICA独自のISMAP管理基準対応リスト（必要な対策基準をまとめたチェックリスト））を提出いただき、その内容を機構が確認した結果、要件を満たすと判断された場合には利用可能です。 審査資料については、機構が指定する「ISMAP管理基準対応リスト」等を提出いただくことを想定しています。過去事例では同リストのドラフト提出から承認まで概ね1か月程度を見込んでいます。 また、ISMAP等クラウドサービスリストへの登録申請予定サービスについては、単に将来的な申請意向を示すのみではなく、少なくとも登録監査法人による外部監査実施結果報告書を受領済みであることを想定しています。 なお、登録申請済みサービスについて、本調達において現時点で登録完了期限は設けていません。
24	P.10	7．業務内容 （4）CMSテンプレートの追加・改修の支援	構築に関する要件でお間違いないでしょうか。	構築完了後発生する修正を想定しています。
25	P.10	7．業務内容 （5）ページ作成及び更新作業	別添3の「週に1回程度、最大20件程度」は、イベント・ニュース・共創スペースを合計した1回あたりの件数でしょうか。また、会員情報等の月次更新の想定件数と、依頼から公開までの標準的な期限をご教示ください。	「週に1回程度、最大20件程度」は、イベント・ニュース・会員情報・共創スペース等（動的ページ）を合計した週1回あたりの更新件数です。 テンプレートを設定のうえ、必要事項を記入することで、依頼から公開まで、1～2営業日とすることをを想定しています。
26	P.10	7．業務内容 （4）CMS テンプレートの追加・改修の支援	運用期間中の新規ページ作成、CMSテンプレート追加・改修、デザイン変更について、年間の想定件数・規模をご教示ください。作業量の目安または上限をご提示ください。また、想定を超える作業が発生した場合、別途協議・契約変更は可能でしょうか。	新規ページ作成は、年間3ページ程度、CMSテンプレート追加・改修、デザイン変更については、運用開始直後は週10件程度発生、運用開始4か月程度が経過した後は月に5件程度を想定しています。 なお、現時点では、想定を超える作業が発生することは想定していませんが、万が一、想定を大幅に超える作業が発生した場合には、別途協議のうえ、契約変更の要否について検討可能です。
27	P.11	8．業務の実施体制 （1）企業の要件	「本調達の事業者がISO27001認証を有していること。」及び「本調達の事業者がISO27017認証を有していること。」を要件として記載することを提案いたします。 理由：クラウドサービスを取り扱うシステムにおいて、一定のセキュリティ基準を満たした管理運用が第三者からの認定されているベンダーに任せることがセキュリティリスクの軽減につながるためです。	業務仕様書「別添4：利用するクラウドサービスに係る要件」に記載の通り利用するクラウドサービスがISMAP等クラウドサービスリストに登録されている場合は、当該登録の確認を行うこととしており、ISMAP未登録の場合は、ISMS（JIS Q 27001）認証の取得確認やISMAP管理基準対応リストによる確認を行うこととしています。 なお、ISMSクラウドセキュリティ（JIS Q 27017）認証については、取得している場合に提出を求める取扱いとしています。 このため、本調達においてISO27001及びISO27017認証の取得を一律の参加要件とすることは予定しておりません。
28	P.10	7．業務内容 （5）ページ作成及び更新作業	弊社のCMSは、構築時にヒアリングしたうえで必要なテンプレートを複数作成し、新しコンテンツは用意したテンプレートを使用してお客様に作成いただく仕様となります。削除についてもお客様にて公開期限の設定及び手動削除を実施いただけることがメリットとなります。 そのため、JICA様にて作成・削除いただく対応も可としていただけないでしょうか。	コンテンツの更新作業についても、受注者に発注する業務に含めます。
29	P.12	8．業務の実施体制 （1）企業の要件 No.1	「省庁、地方公共団体、もしくは独立行政法人のウェブサイト構築・運用実績があれば望ましい。」を「省庁、地方公共団体、もしくは独立行政法人のウェブサイト構築・運用実績を有すること。」へ変更することを提案いたします。 理由：公共分野のウェブサイトでは、アクセシビリティへの対応、情報公開に関する考え方、セキュリティ対策等、民間企業向けウェブサイトとは異なる要件が求められることが多い。本業務を円滑に遂行し品質を確保するためには、省庁、地方公共団体又は独立行政法人におけるウェブサイト構築・運用実績を有する事業者が望ましいと考えるためです。	検討します。
30	P.13	8．業務の実施体制 （4）その他	「本入札の参加にあたり、入札説明会への参加を必須とする」ことを提案いたします。 理由：入札説明会時に共有された留意事項等を把握の上、調達に参加することが望ましいためです。	NO.2に記載のとおり、業務内容説明会は実施予定ですが、参加必須とはしません。
31	P.20	別紙2 全体スケジュール	項番2:契約締結「2026年1月13日」は「2027年1月13日」と読み替えて問題ないでしょうか。	誤記です、申し訳ありません。 契約締結は「2027年1月13日」を想定しています。
32	別添3_ウェブサイト階層図案.pdf	-	別添3に示されているホームページの階層図案について、記載されている階層の深さが、構築対象となるサイト全体の最大階層を示しているとの認識でよいでしょうか。 記載されている階層よりも深い階層を想定している場合は、想定する最大階層をご提示ください。	ご理解の通り、業務仕様書「別添3：関西SDGsプラットフォーム（KSP）ウェブサイト階層図案」に記載の階層がサイト全体の最大階層を示しています。
33	-	-	設計・構築範囲および見積り条件を明確にするため、本調達におけるシステム構築の方針について、以下のいずれを想定おりますでしょうか。 ①クラウド環境は新規で設計・構築するが、コンテンツについては、旧ウェブサイトのHTML等の情報をもとに、新CMSへ移行作業を行う。 ②クラウド環境に新規で設計・構築し、コンテンツの移行は行わない。旧ウェブサイトはあくまでも参考であり、新規で全ページを作成する。 ③ その他の方針	②を想定しております（NO.6回答もご参照ください）。
34	P.10	7．業務内容 （4）CMSテンプレートの追加・改修の支援	現行ホームページで使用しているテンプレート数をご提示いただけますでしょうか。 また、次期システムで想定しているテンプレート数がございましたらご教授ください。	簡易版ウェブサイト（現行）で使用しているテンプレートはありません。 旧ウェブサイトでは、ニュース、イベント、共創スペース、分科会紹介に関し、テンプレートを使用していました。 次期システム（構築する新規ウェブサイト）に関しては、同程度の4テンプレートを想定しています。
35	P.10	7．業務内容 （5）1）更新依頼の受付及びページの作成・更新	×　受注者は、「サイト更新依頼書」を作成する。 ○　発注者は、「サイト更新依頼書」を作成する。 指示は受注者がされるので、上記が正しいかと推測しましたがあっておりますでしょうか。	サイト更新依頼書は、受注者にフォーマット（案）の作成を依頼し、JICAと協議の上、最終化する想定です。
36	P.10	7．業務内容 （5）1）更新依頼の受付及びページの作成・更新	CMSの導入により、発注者においてHTMLの知識が無くても、ページの作成・更新が可能になります。 そのため、コンテンツの更新作業を受注者ではなく発注者で対応することも可能かと思いますが、ご検討済みでしょうか。 発注者にて更新を行う運用とすることで、運用保守に係る作業工数および費用の削減が見込まれます。	NO.28のとおり、コンテンツの更新作業についても、受注者に発注する業務に含めます。
37	P.11	7．業務内容 （5）ページ作成及び更新作業 5）写真・画像等の加工	写真・画像等の加工について、CMSの機能を利用して実施する想定であるか、別途画像編集ソフト等を利用して実施する想定であるかご教授ください。 また、別途画像編集ソフト等を利用する場合は、その費用を本調達に含めるということで認識相違ないでしょうか。	実施方法に指定はありません。 画像編集ソフト等を利用する際は積算の直接経費に含めてください。

38	P.11	7．業務内容 （５）ページ作成及び更新作業 5）写真・画像等の加工	写真・画像等の加工について、リサイズ、トリミング、色調補正、文字入れ等、想定されている加工内容および範囲をご教示ください。	記事の説明用に掲載する写真や画像のため、サイズとしては横800～1200px程度、必要に応じ色調補正・文字入れを想定しています。
39	P.12	8．業務の実施体制 （３）要員のスキル要件	業務主任者の配置要件として、「ウェブサイト運用担当者として3年以上の経験を有する業務主任者を1名配置すること」とあるが、本調達にはウェブサイトの構築業務が含まれることから、運用経験のみではなく、ウェブサイト構築に係る業務経験についても要件として含めることをご検討いただけますでしょうか。 また、プロジェクト管理を行ううえで、業務主任者としてウェブサイト構築案件をマネジメントした実績についても要件として含めることをご検討ください。 あわせて、業務主任者に求める資格要件について記載がないため、以下の要件の追記をご検討いただけますでしょうか。 ・IPA　プロジェクトマネージャ試験の合格者 ・PMP ・同等程度の知識・能力を有することが経歴において明らかなもの	ご助言、ありがとうございます。 業務主任者のスキル要件として、「省庁、地方公共団体、もしくは独立行政法人のウェブサイト運用担当者として3年以上の経験を有する業務主任者を1名配置すること」としていましたが、「省庁、地方公共団体、もしくは独立行政法人のウェブサイト運用担当者として3年以上の経験を有し、また、ウェブサイト構築に係る経験を有する業務主任者を1名配置すること」と変更します。 他方、業務主任者の資格要件（IPA・PMP等の各種プロジェクトマネジメント資格）は、求めません。
40	P.12	8．業務の実施体制 （３）要員のスキル要件	「CMSについて十分な知識を有すること」について、要員の適格性を客観的に判断できるよう、以下のような要件として含めることをご検討いただきたい。 ・CMSの構築・運用保守経験が3件以上あること ・1000ページ以上のコンテンツを公開しているウェブサイトの構築・運用保守経験を有すること 等	「CMSについて、十分な知識及び理解を有すること」を客観的に判断できるよう、要件を明確にすることを検討します。
41	P.14	9．成果物・業務提出物等 （１）成果物 3)「運用・保守」に関する成果物	四半期運用報告書について、成果物一覧に記載がされていないが、成果物として提出する認識でよいか。 提出物の範囲を明確にするため、提出対象となる場合は、成果物一覧への追記をご検討いただきたい。	成果物一覧は支払の根拠（成果品）となるものを指しております。 四半期運用報告書は支払の根拠（成果品）とは位置付けないため、成果物一覧には含めず、「業務提出物」と位置付けています。
42	P.14	9．成果物・業務提出物等 （１）成果物	成果物として記載されている「ソースコード一式」について、CMSのパッケージ自体のソースコードは対象外であり、WebページやCMSテンプレート等、本業務において作成・改修する資材が対象となる認識でよいでしょうか。	ご認識のとおり、「ソースコード一式」にCMSパッケージ自体のソースコードは含みません。
43	P.2	4．ウェブサイト構築の基本方針 （１）　デザイン方針	全ページについて、別添2に示されたデザインを適用する想定でしょうか。 また、現行ページの部品等の情報や既存ページ一式について、受注者への提供可能でしょうか。	業務仕様書「別添2：旧ウェブサイトのページデザイン」に記載のデザインを想定していますが、全く同様とする必要はありません。 選択するCMSの仕様等の要件に応じて変更しても問題ありません。 また、NO.4及び6に記載のとおり、参考として部品等（元データ）の提供は可能です。
44	P.3	5．ウェブサイトシステム環境の構築および運用・保守の基本方針 （1）ウェブサイトシステム環境の構築 1）環境の提案と構築	SaaSの利用を優先的に検討することとされているが、ISMAP等クラウドサービスリストへの登録を条件とした場合、選定可能なSaaS型CMSが限定され、調達における競争性の確保に影響することが想定される。 そのため、SaaSの優先利用に関する要件を見直す、または「ISMAP管理基準」と同等のセキュリティ水準を確保している場合は許可していただけますでしょうか。	本調達ではSaaSの利用を必須としておらず、IaaS、PaaS、SaaS等を含めた適切なクラウド構成を提案いただくことを想定しています。 また、利用するクラウドサービスについては、情報セキュリティ確保の観点から、ISMAP等クラウドサービスリストへの登録済み又は登録申請済みであることを原則としておりますが、ISMAP等クラウドサービスリストに登録されていないクラウドサービスについても、ISMS（JIS Q 27001）認証の取得及びISMAP管理基準と同等以上のセキュリティ水準を満たすことを確認できる場合には利用を認めることとしております。 このため、ご指摘の競争性確保については、既に仕様書案及び利用するクラウドサービスに係る要件において一定の配慮を行っているものと考えており、現時点で要件を変更する予定はありません。
45	P.3	4．ウェブサイト構築の基本方針 （３）CMS設計方針	本調達においてCMSに求める機能要件をご提示いただきたい。 具体的には、ワークフロー機能、テンプレートを用いたページ作成・編集機能、ユーザ管理、権限管理といった、必要となる機能および要件をご提示いただきたい。	CMSに求める機能要件は、以下の通りです。 ・権限管理機能：管理者・編集者・閲覧者 ・承認ワークフロー機能：作成者→管理者→発注者確認→公開 ・検索機能：サイト内検索、キーワード検索等 ・スマートフォン対応 ・セキュリティ機能 ・アクセス解析機能
46	P.4	5．ウェブサイトシステム環境の構築および運用・保守の基本方針 （２）ウェブサイトシステムの運用・保守 3）ウェブサイトシステムの設計・構築	本システムで利用を想定しているサブドメイン数をご教授ください。 SSL/TLSサーバ証明書を含む各種設定や運用保守の作業範囲、工数の見積りに影響するためです。	1件のみです。
47	P.1	8．業務の実施体制	業務主任者に求められる公共機関サイトの運用経験3年以上は、複数案件における従事期間の通算で満たすことが可能でしょうか。また、協力会社の要員配置・一部業務の再委託は可能でしょうか。業務主任者の経験、および制作担当者の採用CMSでの運用支援経験について、必要な証明資料をご教示ください。	通算でも問題ありません。 協力会社からの補強の配置、協力会社への一部再委託は可能ですが再々委託は不可とさせていただきます。 経験については職務経歴書等のプロジェクト経験がわかる資料の提出を求めます。
48	P.2	2．業務概要 (5) 契約終了時の対応	契約終了時の閉鎖または次期事業者への引継ぎについて、積算時はどちらを前提とすべきでしょうか。また、クラウド・CMSの契約名義はJICA、受注者のどちらを想定されていますか。引継ぎ時に必要なデータ形式やアカウント移管条件があればご提示ください。	積算時は「閉鎖」を前提としてください。 クラウドおよびCMSの契約名義は受注者を想定しています。 仮に引継ぎとなった場合、現時点で想定される条件はありません
49	別添１ 更改・廃棄時のセキュリティ対策	(2) 情報の廃棄に係る対策	SaaSの標準機能上、利用者による暗号鍵の管理・消去や、クラウド提供者からの個別の情報廃棄実施報告書の取得ができない場合、提供者の認証・契約条項・標準的な削除手順等で要件を満たすことは可能でしょうか。必要な証明資料をご教示ください。	ご指摘のように、利用するSaaSの標準機能上、利用者による暗号鍵の管理・消去や、クラウドサービス提供者から個別の情報廃棄実施報告書を取得できない場合があります。 そのような場合であっても、当該機能を実現できないことのみをもって直ちに要件不適合と判断するものではありません。 クラウドサービス提供者が実施するセキュリティ対策、認証取得状況、契約条件、データ削除手順その他の代替的な統制により、求めるセキュリティ水準が確保されていることを確認できる場合には、その内容を踏まえて個別に判断します。
50	別添４：利用するクラウドサービスに係る要件	1，2	SaaSが別事業者のクラウド基盤上で稼働する場合、ISMAP登録・ISMS認証等の要件は、SaaSと基盤サービスそれぞれに適用される理解でよろしいでしょうか。必要な証明範囲をご教示ください。	SaaSが他事業者のクラウド基盤上で提供される場合においても、利用するクラウドサービス全体として、別添4に定める要件を満たすことが必要です。 ISMAP等クラウドサービスリストへの登録状況、ISMS（JIS Q 27001）認証の取得状況、又はISMAP管理基準への対応状況については、提案されるサービス構成を踏まえ、機構が必要と判断する範囲で確認します。 なお、提出いただく証明資料の範囲については、SaaS事業者とクラウド基盤事業者の役割分担や責任分界を含め、提案内容に応じて個別に判断します。